

平成30年10月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年10月分について、輸出は「通信機」、「科学光学機器」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同月比23.6%の増加となった。また、輸入は「記録媒体（含記録済）」、「医薬品」などが減少したものの、「原動機」、「有機化合物」、「航空機類」などが増加したことから、同28.6%の増加となった。

その結果、差引額は111億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,000億円	+23.6%	1,111億円	+28.6%	▲111億円	+103.0%
	18カ月連続の増加		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	77億円	+86.9%	輸入	増加品目	(1) 原動機	114億円	+101.0%	
		(2) 自動車用等の電気機器	36億円	+56.4%			(2) 有機化合物	113億円	+40.9%	
		(3) 電気計測機器	86億円	+15.5%			(3) 航空機類	60億円	+37.2%	
	減少品目	(1) 通信機	4億円	▲73.6%		減少品目	(1) 記録媒体（含記録済）	3億円	▲72.8%	
		(2) 科学光学機器	41億円	▲20.1%			(2) 医薬品	128億円	▲4.8%	
		(3) 半導体等電子部品	67億円	▲5.5%			(3) 半導体等電子部品	84億円	▲5.7%	
	主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが増加				主要地域 増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少			

（参考）ドルレートは、112.90円（前年 112.40円）0.4%の円安ドル高であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。